

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6123	(H.24)No.	6123
-----------	------	-----------	------

事務事業名		子ども発達支援推進費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
子ども部		子ども発達支援センター		西山 正彦	62-1088
新・継	事業期間			根拠法令等	
継続	平成	23年度	~	平成	年度
				発達障害者支援法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	191802
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	民生費	子ども発達支援推進事業	
項	児童福祉費	(小事業名)	
目	児童福祉総務費	子ども発達支援推進費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
子ども発達支援センターについては新施設設置までの間、平成24年4月から田辺三菱製薬(株)名張第1研修所を拠点として、家族相談、発達支援教室、5歳児健康診査等を実施し、発達障害の児童に対して早期発見、早期支援を行う。	

めざす効果(事業目的)	
(仮称)子ども発達支援センター整備計画に基づき、発達障害児を中心とする障害児を対象として、関係機関と連携して、総合的かつ継続的な医療を含む専門的な療育を実施するとともに、保護者や家庭に対して適切な支援を行うことにより、児童の健全育成に資するものとする。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	報償費162千円 旅費290千円 消耗品費212千円 印刷製本費2千円 通信運搬費194千円 手数料95千円 委託料158千円 使用料及び賃借料114千円 工事請負費736千円 備品購入費206千円 負担金及び交付金3,267千円	報償費731千円 旅費42千円 消耗品費116千円 印刷製本費20千円 光熱水費120千円 通信運搬費360千円 保険料90千円 委託料357千円 使用料及び賃借料141千円 備品購入費300千円 負担金及び交付金2,926千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			報償費731千円 旅費42千円 消耗品費116千円 通信運搬費360千円 保険料90千円 委託料357千円 使用料及び賃借料141千円 備品購入費300千円 負担金及び交付金2,926千円	報償費731千円 旅費42千円 消耗品費116千円 通信運搬費360千円 保険料90千円 委託料357千円 使用料及び賃借料141千円 備品購入費300千円 負担金及び交付金2,926千円	報償費731千円 旅費42千円 消耗品費116千円 通信運搬費360千円 保険料90千円 委託料357千円 使用料及び賃借料141千円 備品購入費300千円 負担金及び交付金2,926千円
直接事業費	5,436千円	5,203千円	5,203千円	5,203千円	5,203千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 5,436	5,203	5,203	5,203	5,203
人工数	職員 1.00人	3.80人	3.80人	3.80人	3.80人
	臨時職員等	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
概算人件費	(0千円) 7,300千円	28,250千円	28,250千円	28,250千円	28,250千円
+ 総事業費	(0千円) 12,736千円	33,453千円	33,453千円	33,453千円	33,453千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	子どもの発達に関する相談件数	件	-	-	-	180
	実績			-	-	-	147
成果指標	目標	市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口等の子育て支援施策して満足している市民の割合	%	-	-	-	57.0
	実績			-	53.8	56.5	58.6
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
5歳児健診モデル事業を市内5園の保育所、保育園、幼稚園で実施。	平成24年度は市内全園に在籍する5歳児と在宅の5歳児を対象に5歳児健診を実施する。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
5歳児健診実施後の気になる子どもの発達支援教室の開催。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	発達障害者等支援都市システム事業補助金の活用
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 5歳児健診については、平成23年秋にモデル事業として実施、平成24年度から市内全部の5歳児対象に5歳児健診を実施する。また、発達支援として発達支援教室を平成24年4月から実施している。

特記事項